

1. JICTの役割の検証

- JICTは、民業圧迫にならないうず民間投資の呼び水となることを前提に、政策的意義・収益性の観点からチャレンジングな領域における我が国事業者の海外展開を支援する民業を補完する主体としての意義が大きい。

2. JICTの経営状況等を踏まえた対応

2-1. JICTの支援方針の整理

全体方針

- ・我が国の政策方針に則った戦略的な支援と自立的な経営の両立を一層推進すべき。
- ・ポートフォリオ全体の中で政策的意義・収益性のバランスを確保すべき。

分野・事業者

- ・デジタルインフラを積極的に支援しつつも、ICTサービスの更なる支援や放送・郵便の支援も追求すべき。
- ・ガバナンスが確保された事業者との共同投資を前提として、地方企業、スタートアップ企業、中小企業を一層支援すべき。

2-2. JICTのガバナンス強化等

リスク管理

- ・カントリーリスク情報の収集・分析や共同投資事業者のコミットの確保等を通じた投資リスク管理を一層推進すべき。
- ・人材の質・量の両面から体制を戦略的に強化すべき。

エコシステム等

- ・政府系金融機関、海外の政府関係機関、民間株主、銀行等との効果的な連携を推進すべき。
- ・海外ICT分野の専門性の強化、意思決定の機動性・迅速性の確保に引き続き努めるべき。
- ・ポートフォリオ情報等の一層の情報開示を推進すべき。

累積損益

- ・改善計画の達成及び累積損失の解消の前倒しに向けて、円滑かつ適切にEXITを進めるべき。
- ・累積損失の解消状況等も考慮しながら、収益の国への還元を検討すべき。

3. JICTの今後の在り方についての提言

- JICTの累積損失の解消に目処が立ってきていることを踏まえ、2.の対応をJICTが適切に実施し説明責任を果たしていくことを前提に、JICTは引き続き我が国事業者の海外展開支援を推進すべきであり、そのためには、JICTの設置期限を延長することが適当。